

第365回白石市議会定例会一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答弁を求める者
1	5 番 跡 部 政 敏	<p>1 まちの活性化対策について 日常生活の展望「今からいく道」に不安を持つ市民の期待と要望にこたえるまちの活性化対策の具現化について 公約を掲げ、3年度にわたって航行を続ける白石丸の目指す港はまずどこなのか。 (1) 観光客の誘客策の機能拡充 (2) 市のイメージを即、観光に生かす工夫 (3) 無定型の地域博物館構想</p> <p>2 財政の透明化について 単年度会計をすべての財政内容を示せる複式会計に変える構想はないか。</p>	市 長 市 長
2	3 番 大 庭 康 一	<p>白石の政治風土と市民参加のまちづくりについて (1) 閉鎖的、排他的といわれる白石の政治風土をいかに認識しているか。 (2) 市民がもの言える政治風土をいかに構築するか。</p>	市 長
3	11番 吉 田 貞 子	<p>1 指定管理者制度について (1) 白石市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例にそって、その規則の第3条、指定管理者の申込資格における地方自治法第92条の2、第142条又は第180条の5第6項の規定に対する見解をお尋ねいたします。 (2) 指定管理者制度における個人情報の取扱いと情報公開について、見解をお尋ねいたします。 (3) 今後、指定管理者制度を運用しようとする公の施設の対象は、どのようにお考えか、見解をお尋ねいたします。</p> <p>2 高校再編にかかわる当市の影響と対応について (1) 白石高校、白石女子校の統合新設にかかわり、県との協議はどのような方向性で進んでいるか。市はどのような方針で臨んでいるか、所信をお尋ねいたします。 (2) 新設高校の敷地周辺の安全対策を含め諸問題への対応、市の負担の状況は、どのような方向性で進んでいるでしょうか。 (3) 現在の2高校の跡地利用の県の方針と市当局の方針について、見解を伺います。 (4) 県教育委員会は、1月14日の大河原を皮切りに県内4カ所県立高校普通科の学区制度見直しの県民意見聴取会を開催しました。白石高校と白石女子校の統合問題をはじめ、七ヶ宿校・蔵王高校の存続も今後議論になると思いますが、高校再編について、現時点での市教育委員会の判断と見識をお伺いいたします。</p> <p>3 学力テストについて</p>	市 長 市 長 市 長 教 育 長 教 育 長

		<p>文部科学省が4月24日に実施予定の全国一斉学力テストとともに、県独自の学力テストが今県議会に提出されていますが、この2つの学力テストに関する実施要項は、市教委では関知し、各学校への通達、保護者、市民にどのように周知されるのか伺います。</p> <p>2つのテスト結果は、白石市では市民一般に公表されるデータとなるのか、見解を伺います。</p>	
4	4番 高橋 鈍 斎	<p>老人福祉センターと薬師の湯ひまわりセンター（旧かんぼの宿）について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在工事中とのこと、薬師の湯ひまわりオープンの見通しはいつか。 2 老人福祉センターの新規雇用、常勤10人、非常勤21人、小規模多機能型居宅介護、常勤・非常勤9名のそれぞれの役割はどうなっているのか。 3 宿泊室はどこにあるのか。利用料7,000円、5,000円、3,000円とあるが、どれだけの客数と客室数になるのか。 宿泊のための人員とレストランの人員については、どうなのか。 4 白石市自立支援事業は、白石市独自の事業で、それを1社会福祉法人に委託することにどんなメリットがあるのか。(1)オムツ給付、(2)外出支援サービスなど、他にも委託しているのか。 市としては、今後この事業を従来どおりとしないのは、長寿課の事業大幅削減との狙いがあるのか。 5 機能回復訓練室について、専門の機能訓練士をおくのか。理学療法士、作業療法士など。 6 健康センターにある調理実習室や健康相談室、健康増進保養室なども薬師の湯においても行われるが、その目的は何か。その相談には誰があたるのか。 7 世代間交流室など4階のスペースの行事は、これまで行政で行っているが、ひまわりで行うことにより、市とは違った構想はあるのか。 8 70歳以上の高齢者全員に薬師の湯無料、日帰り入浴証と市民バス無料乗車証を交付することにより、これに対する市の補助金があるのか、ないのか。 9 老人福祉センターについて、参考資料に図面はなく、どのように利用されるのか。なぜ、前回市長は、答弁できなかったのか。同じ施設2つはいい、との説明についても理解できない。 10 臨時議会では、旧かんぼの宿は譲渡、老人福祉センターは廃止し、市から委託運営と言っているが、市長答弁は、移転、移管との説明、その意味は何か。老人福祉センターもひまわりに譲渡したのか。 11 市長は、旧かんぼの宿の質問中、なぜ虚偽の答弁をしたのか。市民には広報しろいしで説明していると言っているが、これで十分理解が得られると考えているのか。 	市 長

5	17番 保科 惣一郎	<p>図書行政について</p> <p>(1) 活字離れが子供たちの表現力や思考力に大きな影響を与え、発育を阻害していると言われております。また、一冊の本との出会いが、人生を大きく変えることもあります。その図書との大切な出会いの場を担っているのが図書館であります。</p> <p>市図書館や市内小中学校図書室の利用状況とその対応について、お伺いいたします。</p> <p>(2) 平成15年6月に地方自治法が改正され、図書館等の「公の施設」の管理・運営に民間業者の参画が可能になる「指定管理者制度」が創設されました。「指定管理者制度」は、多様化する住民ニーズにより効率的に効果的に対応するために、管理・運営に民間の能力を活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的とするものです。</p> <p>図書館は、社会教育施設であります。豊かな読書環境を創造し、安らぎを提供していく生涯学習の拠点施設であります。効率や効果だけでははかり切れないものが図書館にはあると思いますが、教育長の所見をお伺いいたします。</p>	教 育 長
6	13番 沼倉 啓介	<p>中心市街地に対する概念規定と本市に対する果たす役割について</p> <p>中心市街地の荒廃は、各自治体が取り組むべき大きな課題として存在している。それもなかなか決め手となるものが見出せずに進んでいるのも現実である。</p> <p>しかし、上記課題の解決は、まちの再生に不可欠な要素であり、改めて共通の認識の機会づくりとしたい。</p> <p>中心市街地をどのような理念と役割が存在するととらえ、それらの達成には、どのような努力が必要とされるか。</p>	市 長
7	22番 谷津 清夫	<p>1 定住促進対策について</p> <p>(1) 市民の皆様によりよい利便性とは</p> <p>(2) 若年層定住促進のための整合性について</p> <p>2 鳥インフルエンザについて</p> <p>(1) 鳥インフルエンザが持ち込まれやすい環境について</p> <p>(2) 千羽以下の小規模飼育者対策について</p> <p>3 孝子堂の整備について</p> <p>(1) ろまんただよう城下町と観光地との課題について</p> <p>(2) 観光地と宗教上の諸問題について</p> <p>4 戦後の教育と郷土愛について</p> <p>(1) 戦後の国民道徳に対する理念</p> <p>(2) 私利私欲に走る戦後教育について</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教 育 長</p>
8	18番 四竈 英夫	<p>1 畜産事業振興に対する支援策について</p> <p>農家経営者の高齢化と後継者不足に伴い、畜産事業が低迷しています。しかし、畜産事業は、地力増</p>	市 長

		<p>進の観点からも農業の基本であり、振興を図るべき事業と考えます。</p> <p>本市ではかつて、老人牛飼奨励事業として、優良雌牛を農家に貸し付け、5年間で雌牛1頭を返還する制度を設けていました。今後ともこれらの制度を継続して、意欲ある農家を育成し、畜産事業の振興を図るお考えがないか、お伺いいたします。</p> <p>2 旧国道113号小原温泉地内の災害防止策について</p> <p>旧国道113号小原温泉地内の山側の斜面は、勾配が急なうえに地盤が軟弱なため、大雨が降ると法面が崩落したり、土砂が流れ出し、通行に支障を来しています。</p> <p>この路線は、小原温泉とスパッシュランドを經由する路線バスが運行されている区間であり、不測の事態も予想されます。土砂崩れ防止策など何らかの事故防止対策をとるお考えがないか、お尋ねいたします。</p>	市長
9	7番 林 茂	<p>1 VDT症候群と呼ばれる健康被害について</p> <p>(1) 厚生労働省におけるVDT作業ガイドラインの認識について</p> <p>(2) VDT症候群についての職員の実態の把握と、健康管理の取り組みの考え方と、今後の対応について</p> <p>2 社会教育について</p> <p>(1) 白石市社会教育計画の最重点をどこに置いているか。</p> <p>(2) 少子高齢化、環境問題、国際化、情報化など現代的課題への積極的な取り組みによる新たな事業展開と生涯学習機会の拡大について</p> <p>(3) 多様化、高度化する生涯学習内容に対する指導者の育成と人材の確保について</p> <p>(4) 充実した学習や活動を行うための会場となる施設の整備計画や利用時間の拡大など、学習環境の整備計画について</p> <p>(5) 今後の生涯学習への基本的な考え方について</p> <p>(6) 学習成果を地域社会の活性化などに生かすための今後の取り組みについて</p>	市長 教育長
10	2番 水落孝子	<p>乳幼児医療費助成制度の拡充について</p> <p>全国的に少子化対策に各種施策を議論していると思うが、乳幼児医療費助成制度の助成年齢の引き上げを実施する自治体は着実にふえており、それだけに根強い要求がうずまいている。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 通院への助成を就学前までに引き上げることに ついて</p> <p>(2) その際の予算の試算について (1年前は3,000~4,000万とのこと)</p> <p>(3) 所得制限について、制限される対象世帯はどれくらいあるのか。</p>	市長

